

(研究用)

当院は下記の研究を実施しています

記

課題名 小児重症感染症患者における病原体診断の後方視的検討

研究の目的・意義

小児の感染症の原因となる病原体（ウイルスや細菌など）に対する診断方法を開発する事が目的です。この診断法が開発されると、病原体による病気についての理解が深まり、将来治療につながる可能性があります。

研究の方法

2008年4月から202~~7~~⁹年3月に当センターにて、感染症の診断のためにリアルタイムPCR検査法を行った患者さんが対象となります。保存してある検体を次世代シーケンサーや多数の病原体に対するマルチプレックスPCR法で解析します。また、感染症の経過を診療カルテから後方視的に解析し、新しい検査の有用性や病原体による症状の違いに関して検討を行います。新たにお問い合わせすることはありません。

➤ 調査項目

患者さんの性別、年齢、初診日、合併疾患、
発症（発見）時期、症状、治療歴、経過、検査結果
保存してある検体中の病原体の種類

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報
は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

研究実施機関

国立成育医療研究センター
大阪大学微生物病研究会

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>）

ご自身が該当すると思われる方で、解析に加わることを拒否されたい場合

(研究用)

は主治医にご連絡ください。